# 授業概要（シラバス）

■科目基本情報

専門学校日本ホテルスクール

| | | | |
|---|---|---|---|
| 科目番号 | FL206 | 分類 | 演習科目 |
| 授業科目名 | 中国語Ⅱ | 英文授業科目名 | Chinese Ⅱ |
| 年度 | 2025年度 | 年次 | 昼間部　2年　ホテル科・ブライダル科・ホテルSNS科 |
| 開講学期 | 通年 | 授業の方法 | 演習科目 |
| 単位数 | 1単位 | 年間授業時間数 | 28.8時間 |
| 科目区分 | 語学科目 | 授業コマ数 | 24コマ |
| 担当教員名 | 飯野 牧　実務経験なし | 備考 | |
| 経歴 | | | |

■授業・科目情報

| | |
|---|---|
| 学習目標 | 中国語は世界的に幅広く話されている言語であり、今もなおその範囲を急速に拡大し、中国語の需要は年々増え続けている。訪日中国人観光客は増え続け、日常会話として必要性のある言語になりつつある。中華圏の文化や日本との共通点や違い等学ぶ。日常生活でよく使う短いフレーズ、簡単な日常会話ができるようになることを目標とする。 |
| 教科書 | 新ゼロからスタート中国語（会話編） |

授業計画

| 回数 | 内容 |
|---|---|
| 1 | 2年目の目標、自己紹介（講師＆学生）　①日常あいさつ |
| 2 | ①日常あいさつ続き　P52覚えておきたい常用フレーズ |
| 3 | ②感謝する |
| 4 | ③謝罪する |
| 5 | ④喜び・お願い |
| 6 | ⑤同意・相づち |
| 7 | 初対面の会話① |
| 8 | 初対面の会話② |
| 9 | 久しぶりの再会① |
| 10 | 久しぶりの再会② |
| 11 | 住む場所と勤務先/出身地について話す |
| 12 | 前期試験 |
| 13 | 職業について話す |
| 14 | 年齢について話す |
| 15 | ランチに誘う |
| 16 | 中国ウェディング |
| 17 | ホテル会話チェックイン |
| 18 | ホテル会話チェックアウト |
| 19 | レストランにて（お客様のご案内、注文、お会計） |
| 20 | 中国映画、中国語番組鑑賞 |
| 21 | 中国音楽 |
| 22 | 好きを使って色や飲食を表現する（趣味について話す） |
| 23 | 後期復習 |
| 24 | 後期試験 |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

| | |
|---|---|
| 授業の進め方 | パワーポイントを使用する。中国語を学ぶのは楽しい、面白いと感じて欲しいので、ビデオやスライドなどの視覚教材を使用。毎回、前回の復習を行う。必要に応じて参考資料としてプリントの配布も行う。エンターテインメント情報も入れながら進めていく。テキストの進め方は順番が前後する可能性有り。 |
| 試験の実施方法 | 前後期各1回<br>試験期間に設定し、形式は文書試験とする。 |
| 成績評価方法 | 本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。<br>①試験得点＝50%（10ポイント）<br>②出席率　＝50%（10ポイント）<br>上記の2つの項目をそれぞれ10ポイント（合計20ポイント）に置き換えて、そのポイントに応じてA,B,C,D,F評定を決定する。<br>尚、前提基準として①試験全体平均点の50%未満。または②出席率の50%未満に該当する場合には「F」評価とするが、通年教科の後期学年末の評価については、前期および後期全体の状況をもって算出する。 |
| 関連科目 | 中国語Ⅰ |
| 参考書 | 「中国語の初歩の初歩」野村邦近著 ナツメ社(2010年)、「ひとりで学べる中国語会話」川原祥史著 高橋書店(2010年) |
| 学生へのメッセージ | 2年生では会話を重視し、簡単な会話を理解し、簡単な会話のやりとりができる様になるまでのレベルを目指します。仕事で使えるフレーズも学習します。 |

以上